



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 2月号
令和5年1月31日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

節分 弱い心を退治しよう

副校長 瀬木 寿哉

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」とよく言われていますが、あっという間に1月が終わろうとしています。

冬休み明け、全校で書初めに取り組みました。1・2年生は教室で、3年生から6年生は、体育館で行いましたが、どの子も姿勢を正し、真剣なまなざしで一文字一文字に思いを込めて書く様子が見られました。新しい1年のよいスタートを切ることができました。

さて、明日から2月です。立春を迎え、冬から春へと季節が変わりますが、昔から季節の変わり目には災いに見舞われることがあると言われてきました。そこで、邪気を払い1年の無病息災を願う行事として、豆まきを行ったり恵方巻を食べたりするなどの風習が今でも残っており、豆まきでは邪気や病気、災いなど良くないことを追い出すために「鬼は外」と唱えられます。

今年1年をどんな年にしたいか自分の思いを表す漢字を1文字選び、廊下に掲示してある学年がありました。『挑』や『進』、『明』や『笑』など、前向きな1年にしようと願う文字が多く、これまでの自分を改めることを考えた漢字も見られました。気持ちをコントロールし人に優しくできるように『優』と書いた子どもや、優柔不断な自分を改めすぐに決断できるようになるために『決』の文字を選んだ子どももいました。

誰にも苦手なことや欠点があり、それを改めたいと願っています。成長していくためには、まず自分自身の弱さに気づき、受けとめることが第一歩となると思います。そして、その欠点や弱さを克服するための努力を続けていくことが大切です。

しかし、努力を続けることは簡単なことではありません。誰にも、諦めたり逃げたりしようとする気持ちや、楽な方に流されたりする弱い心があると思います。子どもたちには、自分の中にある弱い心を退治しながら一歩ずつ成長し、自分の弱い心に打ち勝つ経験を重ねることで自信をつけ、よりよい自分に近づいてほしいと思います。

ただ、それでも自分の中にある弱い心に負けてしまうことがあります。そのような時こそ、子どもたちが前に進むためには、頑張りを認め励ますなど、私たち大人の支えが必要となります。子どもたちのよりよい成長のため、学校・家庭・地域と連携して支援していけるよう、今後ともご理解ご協力よろしくお願ひします。

